

八幡平市 第三セクター 決算状況



依然厳しい経営状況ですが、地域・観光振興の役割も考えながら、今後の在り方を検討します(写真は松尾八幡平物産館)

市が50%以上出資する第三セクター4社の株主総会は5月31日、西根地区市民センターで、それぞれ開かれました。ここでは、各社の18年度決算状況をお知らせします。4社の決算書は市産業建設部商工観光課、松尾・安代の両総合支所で閲覧できます。担当は、市産業建設部商工観光課(☎76-2111、内線1262、1265)。

コスモプラザ西根

18年度第15期の売上高は3億5716万円で、前期比6.3%の伸びを示しましたが、収支は397万円の赤字となりました。利益剰余金は339万円です。

事業別では、国際交流村が観光客の減少と、石油価格の高騰などで2008万円の経常損失。入浴者数は開館から80万人を突破し、当期の利用者は10万人を超え、前年度より8500人増加しました。生産物直売所は、前期比6.9%増の売上で1610万円の経常利益となっています。

八幡平温泉開発

18年度第37期の売上高は1億8095万円で、前期比12%増加。収支は121万円の黒字となり、利益剰余金3274万円を計上しています。19年度から引湯管布設替え工事が始まり、大規模な資金が必要です。温泉給湯事業の長期計画を見据えた経営努力が求められます。

温泉館森乃湯は、入浴者数約5万6千人で、前年度より5千人ほど増加し、102万円の経常利益となりました。不動産事業は、モデルハウスを中心とした営業を展開し、建売1件、仲介2件の実績となりました。

松尾ふるさと振興公社

18年度第13期の売上高は1億1634万円で、前期比40%減少しましたが、収支は305万円の黒字となりました。不採算部門だったトラウトガーデンとミネラルウォーター部門から撤退し、人件費などの抜本的な見直しと、前年売上高の確保に努め、3期

ぶりの黒字。しかし、226万円の債務超過があり、引き続き経営努力を行います。なかやま荘は、入浴者が前年より5800人多い、2万8千人となり、238万円の経常利益となりました。開館3年目の松尾八幡平物産館は、知名度のアップと秋の行楽期に好天に恵まれたことで、入り込み数が前年度より9千人多く、8万4千人を超えました。前期は閉鎖した冬期間の営業を通常営業とし、359万円の経常利益となりました。

安代産業振興公社

18年度16期の売上高は1億4498万円で、前期比1.3%減となり、収支は336万円の赤字となりました。次期繰越損失は、1622万円を計上しました。

事業別では、テレトラック安代が若手競馬の不振で売り上げが伸び悩み、温泉館あずみの湯は入浴者が前年度より650人増加しましたが、損失を計上しました。物産部門の山ブドウ製品販売は、前期比86.4%増、林業センターも夏場の集客が順調で、大幅に収支を改善できました。

決算状況	㈱コスモプラザ西根		八幡平温泉開発㈱		㈱松尾ふるさと振興公社		㈱安代産業振興公社	
主な業務	岩手山焼走り国際交流村 生産物直売所(道の駅にしね)		温泉給湯、不動産、森乃湯		なかやま荘、ホロホ口鳥 松尾八幡平物産館アスピーテ		テレトラック安代、あずみの湯 安代林業センター	
所在地	八幡平市平笠24-728		八幡平市松尾寄木1-590-310		八幡平市松尾寄木2-512		八幡平市小柳田360	
設立時期	平成4年7月1日		昭和45年9月30日		平成6年7月1日		平成3年11月20日	
資本金	5,100万円		4億1,000万円		1,600万円		2,200万円	
※1従業員数	48人		26人		15人		18人	
	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度	17年度	18年度
売上高	3億3,599万円	3億5,716万円	1億6,061万円	1億8,095万円	1億9,114万円	1億1,634万円	1億4,690万円	1億4,498万円
※2当期損益	▲1,690万円	▲397万円	620万円	121万円	▲2,614万円	305万円	▲764万円	▲336万円
利益剰余金	839万円	339万円	3,153万円	3,274万円	▲2,131万円	▲1,826万円	▲1,285万円	▲1,622万円

※1 従業員数は19年4月1日現在 ※2 当期損益は税引き後